

名古屋大学大学院生命農学研究科

数理・データサイエンス・AI 教育推進事業特任助教もしくは特任講師公募要領

1	募集件名	特任助教もしくは特任講師の公募
2	募集者の名称	国立大学法人東海国立大学機構
3	所属	大学院生命農学研究科
4	募集内容	<p>【職務内容】</p> <p>名古屋大学大学院生命農学研究科および農学部では、農学研究教育を基盤としつつ、データサイエンス教育を推進することにより、スマート農・林業における研究開発やバイオサイエンス・テクノロジー研究の発展に寄与するとともに、イノベーションの創出や SDGs の様々な社会的課題の解決などに柔軟に対応できる人材の育成を目指しています。</p> <p>本公募では、農学を対象とした数理・データサイエンス (MDS) 及びデジタルトランスフォーメーション (DX) などの分野において、優れた研究成果と深い知見を有し、名古屋大学内の数理・データサイエンス教育の推進及び学部・研究科内の MDS・DX 教育及び研究を強力に推進できる人物を求めます。</p> <p>(雇入れ直後)</p> <p>【担当する業務】</p> <p>上記の選考方針に沿って、名古屋大学大学院生命農学研究科及び農学部における MDS・DX 教育に携わっていただきます。また、農学部だけでなく、大学全体の数理・データ科学教育を推進するために、数理・データ科学・人工知能教育研究センターを 50% のエフォートで兼務していただきます。</p> <p>※本募集では、業績(研究業績、教育業績、社会的貢献、人物を含む。)の評価において同等と認められた場合には、女性を積極的に採用します。</p> <p>[勤務地]</p> <p>(雇入れ直後) 愛知県名古屋市千種区不老町 (変更の範囲) 東海国立大学機構が指定する就業場所</p> <p>[募集人員] 特任助教もしくは 特任講師 ・ 1 名</p> <p>[着任時期] 2026 年 6 月 1 日以降 のできるだけ早い時期</p>

5	募集研究分野	大分類	農学
		小分類	
6	勤務形態	常勤 任期あり（2028年3月31日まで）	
7	応募資格	博士の学位を有すること（または着任時までに取得見込の者）。上記専門分野の研究・教育に対して十分な研究実績と強い熱意・意欲をもつ方。日本語及び英語で教育・指導ができること。	
8	待遇	<p>[採用後の待遇（給与、勤務時間、休日、雇用期間、保険等）]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・東海国立大学機構職員就業規則の定めるところによる。 https://public1.legalcrud.com/thers_ac/act/110010928.html ・給与は、東海国立大学機構名古屋大学年俸制適用教員給与規程において定める年俸制とする。 https://public1.legalcrud.com/thers_ac/act/110000191.html ・専門業務型裁量労働制により、1日7時間45分働いたものとみなされます。 ・受動喫煙防止措置：原則としてキャンパス内は喫煙禁止 	
9	応募期間	2026年3月10日（火）～2026年4月7日（火）（日本時間17:00必着）	
10	応募・選考結果通知連絡先	<p>[応募方法（提出書類の送付先）]</p> <ol style="list-style-type: none"> （1）応募する旨を明記した書類（応募者の連絡先、電話番号、電子メールアドレス等を含む） （2）履歴書（形式自由、写真貼付、E-mail アドレス記載） （3）研究業績リスト ①学術雑誌論文、②国際会議論文、③総説・解説・著書など、④国内外学会発表、⑤その他（受賞、獲得研究費（研究題目、研究期間、獲得金額、代表・分担を明記）、特許等があれば区分して記載） （4）論文等のPDFファイル（主要なもの3編以内） （5）これまでの研究概要（A4・2ページ程度） （6）MDS・DX教育への抱負（A4・1ページ程度） （7）審査に役立つと応募者が判断するその他の事項（受賞歴、教育経験など） （8）応募者について照会できる方2名の氏名・所属・応募者との関係・連絡先（電話番号およびメールアドレス）を記した書類 （9）「類型該当判断のフローチャート」に基づく「類型該当性の自己申告書」（「11. その他」のリンク先に提示した書式のもの） <p>[書類送付先] 上記の（4）を除く提出書類（1）、（2）、（3）、（5）～（8）を1つのPDF</p>	

	<p>ファイルにまとめ、(4)の PDF ファイルとともにフォルダに入れ、圧縮 (ZIP 形式) フォルダにしたファイルを、以下のアドレスに添付で送信してください。メールのタイトルは「MDS・DX 特任助教・特任講師応募 (氏名)」としてください。</p> <p>また、ファイルサイズは全体で 100MB を超えないようにしてください。やむをえず越えてしまう場合は、複数のメールに分割することも可能ですが、その際は、その旨を明記してください。</p> <p>なお、受領後一週間以内に受領確認のメールを返信しますので、届かない場合には必ず委員長まで電子メールにてお問い合わせください。</p> <p>書類の送付先アドレス (電子メール) : koubo_ds[at]agr.nagoya-u.ac.jp ※[at]を@に置き換えてください。</p> <p>[問い合わせ先] 名古屋大学大学院生命農学研究科数理・データサイエンス・AI 教育推進事業 特任教員選考委員会委員長 山本一清 送付先アドレス (電子メール) : kazukiyo[at]agr.nagoya-u.ac.jp ※[at]を@に置き換えてください。</p>
	<p>[選考内容 (選考方法、採否の決定)]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・書類選考の上、面接を実施することがあります。 ・なお、面接を実施する場合の交通費は自己負担とします。 ・採否の結果については、原則、電子メールで連絡します。
11	<p>その他</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本募集では研究業績、教育業績、社会的貢献、人物等の評価において同等と認められた場合には、女性を積極的に採用します。 ・出産・育児・介護・病気等の理由により、過去に研究活動を中断・遅延した期間があれば、その点を履歴書に記載することができます。本学ではそれを記載したことにより、不当な評価を受けることはありません。 ・本学では、多様性の推進やワークライフバランスの促進に、積極的に取り組んでいます。詳細については以下の URL をご覧ください。 <p>ジェンダーダイバーシティセンターWebサイト： https://www.kyodo-sankaku.provost.nagoya-u.ac.jp/ ダイバーシティ、エクイティ、インクルージョン&ビロニング (Diversity, Equity, Inclusion & Belonging; DEIB) 推進宣言： https://www.thers.ac.jp/about/declaration/deib/index.html</p> <ul style="list-style-type: none"> ・2021年11月「外国為替及び外国貿易法」(外為法)に基づく「みなし輸出」における管理対象の明確化に伴い、大学・研究機関における教職員への機微技術の提供の一部が外為法の管理対象となりました。これに伴い、本公募に応募の

		<p>際、「類型該当判断のフローチャート」に基づく「類型該当性の自己申告書」(https://www.agr.nagoya-u.ac.jp/general/fefta.html の「様式 1」)の提出が必要となります。また、採用時には「誓約書」の提出が必要となります。</p> <ul style="list-style-type: none">・応募データは、本選考以外の目的には使用しません。・応募データは、本選考委員会が責任を持って処分します。
--	--	--